

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- ・ 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- ・ Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- ・ 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ 本機に保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・ 本機に保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法に抵触するおそれがあります。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

本書の構成

操作の前に→ P.13

地図画面の見かた→ P.27

目的地を探す→ P.39

地点・ルートに登録する→ P.55

ルートの設定と案内→ P.59

情報を利用する→ P.77

通信機能を利用する→ P.84

オーディオ・ビジュアルを楽しむ→ P.98

各種設定→ P.137

便利な機能（アクセサリ）を使う→ P.153

困ったときに…→ P.166

付録→ P.179

■ 本書に記載されているマークの意味

⚠ 警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

⚠ 注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

お願い

「警告」や「注意」には該当しませんが、金銭や時間を大きく損なう危険性があることについて説明しています。

準備

操作をするために、あらかじめ行わなければならないことを説明しています。

お知らせ

操作を行ううえでの制限事項などを説明しています。

MEMO

本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

■ ハードボタンとタッチキーについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下の例のように枠囲みで表記しています。

例： **MENU**

また本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。

画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下の例のようにグレーのキーで表記しています。

例： **目的地**



安全にお使いいただくために

本書は、ナビゲーションシステムおよびオーディオ・ビジュアルの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書とあわせてお読みください。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。

仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。



警告

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。



注意

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。



警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。



実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。



リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する

後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。

テレビやDVDを見たりナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



分解や改造をしない

コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。



ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音をする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。



ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。

また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

SDメモリーカード/mini B-CASカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

注意

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をする、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。



上に物を置かない



手で強く押さない



ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったりたたいたりしない



水滴やジュースなどの飲みものをかけない

操作パネルの開閉や角度の調整時に、手や指をはさまないように注意する

けがの原因になります。

お願いとお知らせ

■ 操作パネルについて

- ディスク/SDカード挿入口等や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルに、たばこの火などを触れないようにしてください。キャビネットや液晶表示部が変質、変形することがあります。
- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。

■ 液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」をお読みください。→ P.6
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなる場合があります。
- 非常に寒いときは、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。
- 夏期は車内温度が高くなる場合がありますので、車内の温度を下げたからお使いください。液晶表示部が正しく動作する温度は0℃～60℃です。

■ 使用環境について

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- 本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンキーをOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- Hondaスマートキーシステムが装着されている車では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合があります。また、Hondaスマートキーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。Hondaスマートキーを離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

■ ルートについて

- 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- 提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。

■ その他

- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能がありますので、走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
- ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期設定状態になります。その場合には、設定し直してください。初期設定に戻るのは、FM/AM/TVチューナーのプリセットメモリーおよびチューナーエリア、音質および音量バランスなどオーディオ設定の一部と、操作パネルの角度設定などです。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に变化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にご使用ください。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

お手入れ

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

- ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
- レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
- DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・湿気やホコリの多い場所
 - ・暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

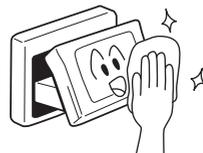
本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量付けて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。



※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミの付くことがあります。

- 液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。



お使いになる前に

- 購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分～15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2分～3分程度かかることがあります。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなる場合があります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

■ 著作権について

本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。取説記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア（更新プログラム、データを含む）の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

■ インターナビ・プレミアムクラブについて

- 本機の地図更新は“インターナビ・プレミアムクラブ”会員サービスとしてご提供いたします。（会員登録されない場合は地図更新サービスはお受けいただけません。）必ずHonda販売店で会員登録をお願いします。
- 無償地図更新の時期、有償地図更新の価格やお申込方法は、インターナビ・プレミアムクラブ パーソナルホームページやメールニュースでご案内いたします。
- インターナビ・プレミアムクラブについて詳しくは、取扱説明書のインターナビ・プレミアムクラブ編をご覧ください。



自転車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。(距離係数/学習機能) そのため、ある程度の走行データが必要です。

走行している道路の状況や、GPS衛星からの電波受信状況により、自転車位置マークが実際の車の位置とずれることがあります。故障ではありません。

そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自転車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセットの操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じます。→ P.9

GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道(国道、主要地方道路、主要一般道路)をしばらく走行すると、自転車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間で学習が可能です。

GPSが受信できる、下記のような道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

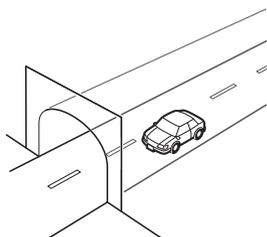
- 上空に障害物がない道
- 周辺に高いビルがない道

— MEMO —

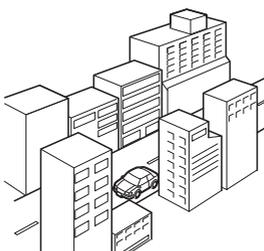
- 自転車位置マークの精度や誤差について詳しくは、「自転車位置の精度について」をご覧ください。
→ P.9

GPSの誤差について

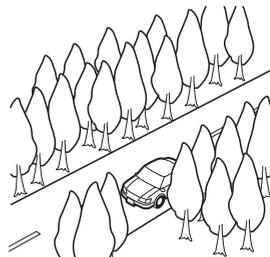
- 以下のような場所では、GPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。



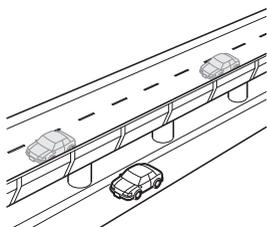
トンネルの中



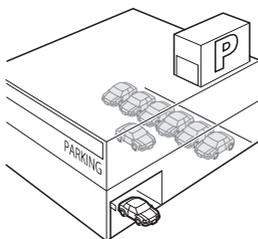
高層ビルなど、
障害物で囲まれた場所



樹木などの密集地



高架道路の下



建設物の中や、地下、屋内駐車場

- GPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 米国国防総省による故意の衛星精度の低下により、測位誤差が大きくなることがあります。
- 受信できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

3Dセンサーによる上下道路判定について

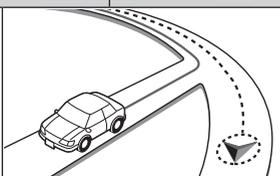
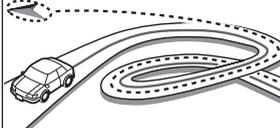
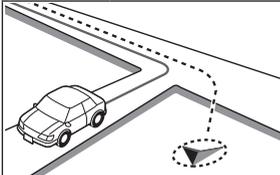
自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自転車位置測位を行います。

- 上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。
- 高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

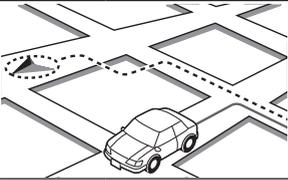
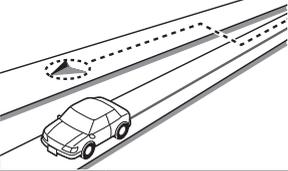
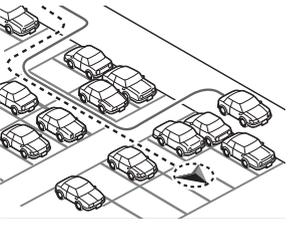
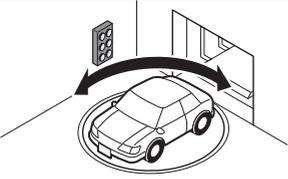
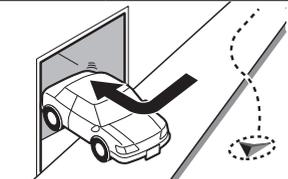
自転車位置の精度について

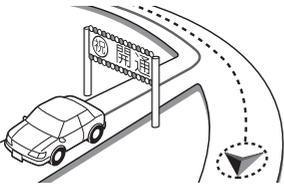
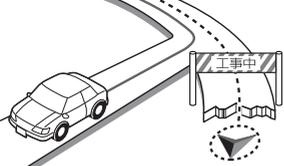
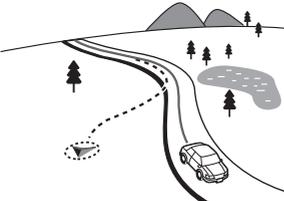
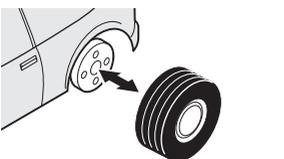
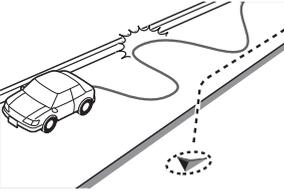
はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったとき、または通常使用中等に、現在地を測位するまで5分～15分ぐらいかかることがあります。

次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自転車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況）	———：走行中 -----：表示	走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自転車位置マークが表示されることがあります。	
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自転車位置マークが道路から外れることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自転車位置を修正する」を行ってから、「センサーの学習リセット」を行ってください。
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自転車位置マークが道路から外れることがあります。	→ P.144 これらの操作を行ったうえで、「自転車位置のずれを修正するには」をご覧ください。
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自転車位置マークが道路から外れることがあります。	→ P.8

自車位置がずれていたら

原因 (状況)		—— : 走行中 ----- : 表示	走行条件	備考 (処置など)
道路の形状			碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自車位置を修正する」を行ってから、「センサーの学習リセット」を行ってください。 → P.144 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。 → P.8
			高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
場所			駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置から外れていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	
			ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
			雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
			坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路から外れることがあります。	

原因 (状況)	—— : 走行中 - - - - : 表示	走行条件	備考 (処置など)
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確にはたらかず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路から外れていることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、「自車位置を修正する」を行ってから、「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.144 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。→ P.8
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常にはたらかず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.144 この操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。→ P.8
走りかた		無停止連続走行 長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	一度停止して、「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.144 この操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。→ P.8
		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	「自車位置を修正する」を行い、「センサーの学習リセット」を行ってください。→ P.144 これらの操作を行ったうえで、「自車位置のずれを修正するには」をご覧ください。→ P.8

自車位置がずれていたら

原因（状況）	——：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度	位置の設定の精度が悪いと、特に道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	お願い 修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。
	自車位置調整時の方位 	自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

操作の前に

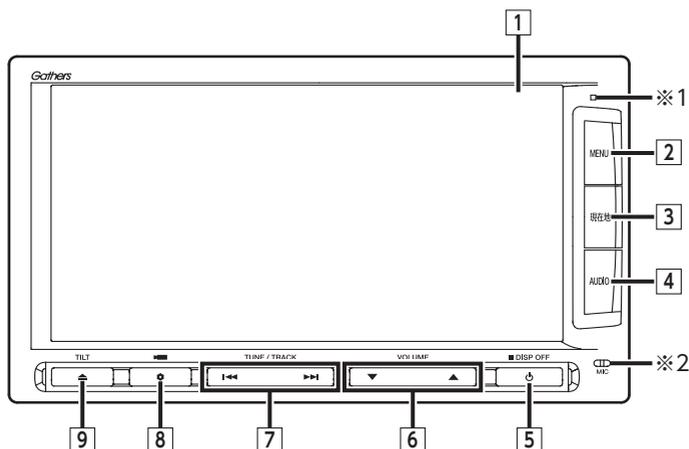
本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称とはたらき	14	文字の入力方法を切り替える	21
操作パネル	14	文字を入力する	21
本体	16	文字を変換する	21
本機で利用できるメディアについて	17	文字を消去する	21
本機で使えるディスク	17	文字を挿入する	22
再生できるCD	17	予測候補を表示する	22
再生できないCD	17	リストを1つ移動する	22
再生できるDVD	17	リストのページを移動する	22
再生できないDVD	17	インデックスを使って選ぶ	23
本機で使えるSDカード／USBメモリー	18	リストの選択／解除をする	23
SDカード取り扱い上のご注意	18	リストを並べ替える	23
基本的な使いかた	19	リストの項目を絞り込む	24
電源を入れる	19	条件を指定して絞り込む	24
操作パネルを開閉する	19	近隣県を指定する	24
操作パネルの角度を調整する	19	施設情報を確認する	25
画面を非表示にする	20	関連する地図を表示する	25
時計の表示を設定する	20	数値を増減する	25
文字パネルを操作する	20	自宅を登録する	25
文字の種類を切り替える	20	登録済みの自宅情報を編集する	26

各部の名称とはたらき

操作パネル

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。



※1 セキュリティイルミです。「セキュリティイルミ」をONに設定している場合に点滅します。→ P.145

※2 内蔵マイクです。本機がBluetooth対応携帯電話と無線接続した場合に、ハンズフリー機能用マイクとして使用します。外部マイクが接続されている場合は、外部マイクを優先します。

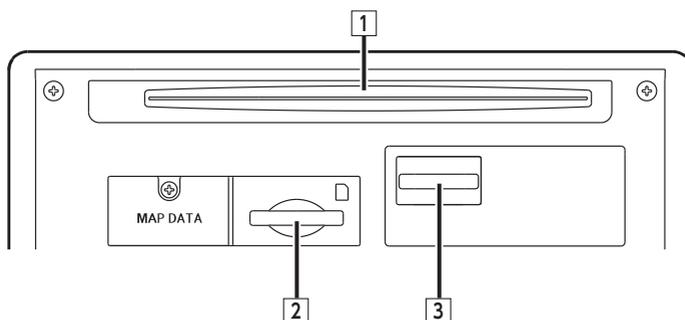
本書では、操作パネルの各ボタンを以下のようなイラストで説明しています。

番号	イラスト	操作の説明	
1	—	タッチ	モニター兼タッチパネルです。画面が表示され、画面をタッチすることでタッチパネルとして機能します。
2	MENU	短押し	メインメニュー画面を表示します。  この画面から各メニューを選択します。
3	現在地	短押し	現在地の地図画面を表示します。→ P.28
		長押し	その時点での走行状態に応じた音声案内を確認できます。

番号	イラスト	操作の説明	
4		短押し	現在選択中のオーディオ画面や、ソース選択画面を表示します。 → P.100  ※別売のVTRコード接続時の画面です。
		長押し	Siri Eyes Free機能を実行します。→ P.96
5		短押し	オーディオ・ビジュアルのON/OFFを切り替えます
		長押し	画面を非表示にします。→ P.20 また、画面全体に時計を表示することもできます。
6		短押し	オーディオ・ビジュアル機能やルート音声案内などの音量を調整します。→ P.100、P.149
		長押し	音量調整の際、連続して音量を変えます。
7		短押し	オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択します。
		長押し	オーディオ・ビジュアル機能で、早戻し、早送りができます。 またラジオ、テレビを選択中は連続して周波数を切り替えたり、自動で放送局を選択できます。
8		短押し	ボタンに割り付けたお好みの機能を実行します。→ P.151 別売のフロント／コーナーカメラ接続時は、カメラの表示を呼び出します。→ P.162
		長押し	ボタンに機能を割り付ける際の選択画面を表示します。→ P.151
9		短押し	操作パネルの開閉や角度調整を行う画面を表示します。→ P.19 同じ画面からディスクも取り出せます。→ P.99
		長押し	本機に挿入されているディスクを排出します。

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。



番号	名称	機能の説明
①	ディスク挿入口	DVDビデオ、DVD-VR、CD、MP3・WMA・AACディスクを挿入する場所です。→ P.99
②	SDカード挿入口	SDカードを挿入する場所です。→ P.99
③	mini B-CASカード挿入口	mini B-CASカードを挿入する場所です。→ P.106

⚠ 警告

- ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。振動によりディスクが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

— お願い —

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくことで結露が取り除かれます。
- ディスクをイジェクトした状態のまま走行しないでください。操作パネルが閉まる際に、ディスクがはさまれ本機やディスクが破損するおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。
- 操作パネルの開閉中や、角度を調整した状態では、SDカードやディスクを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

本機で利用できる メディアについて

本機で使えるディスク

- お願い —
- 下記のディスクは、傷が付いたり、取り出せなくなるおそれがあるので使用しないでください。
 - 8cmCD
 - 異形のディスク
 - デュアルディスク (Dual Disc)
 - ラベルを貼り付けたディスク
 - ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
 - ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。
 - セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
 - ディスクは次のような場所には保管しないでください。
 - 直射日光の当たる場所
 - 湿気やホコリの多い場所
 - 暖房の熱が直接当たる場所

再生できるCD

- 音楽CD
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク (ただし音楽CDとして)
- Super Audio CD (ハイブリッドディスクのCD層のみ)
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク^{*1}
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク^{*2}
- コピーガード付きCD^{*3}

^{*1} アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

- ^{*2} 正常に再生できない場合があります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
- ^{*3} 再生できない場合があります。

再生できないCD

- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク (オーバーバースCDなど)
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク

再生できるDVD

-  の付いているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存されたDVD-VRを再生できます。DVD-VRを再生するには、あらかじめお持ちのレコーダーでファイナライズしてください。

再生できないDVD

- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM

以下のディスクは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

- ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW

本機で使えるSDカード/ USBメモリー

●記録メディア

SDカード、SDHCカード(32GB以下)、miniSDカード*、microSDカード*、USBメモリー

※専用のアダプタが必要です。直接入れた場合、取り出せなくなったり、故障の原因となりますので、必ず専用アダプタをご使用ください。

●記録フォーマット

FAT16、FAT32

●拡張子が以下のファイル

.MP3/.WMA/.M4A/.MP4/.WMV

該当するファイル以外には、これらの拡張子を付けしないでください。雑音や故障の原因となります。

●ファイルサイズが2GB未満のファイル

※ただし、1GBを超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。

※AACファイルは約800MBまでのファイルを再生できます。これを超えるサイズのファイルは再生できない場合があります。

詳しくは以下をご覧ください。

●本機で再生可能な音声ファイルについて

→ P.190

●本機で再生可能な動画ファイルについて

→ P.195

— お知らせ —

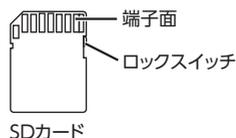
- SDカードと互換のない記録メディアには対応していません。
- SDXCメモリーカードには対応していません。
- miniSDアダプタ、microSDアダプタを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM(デジタル著作権管理)で保護されたデータの再生はできません。

— MEMO —

- SDカードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。

SDカード取り扱い上のご注意

- SDカードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SDカードを拭かないでください。
- 書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SDカードを本機から抜いたり、エンジンキーをOFFにしたりしないでください。
- SDカードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
- SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SDカードの端子面に、手や金属で触れないでください。
- SDカードの最適化は行わないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



基本的な使いかた

— MEMO —

- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

電源を入れる

1 エンジンキーを「ACC」、または「ON」にする

本機に電源が入ります。

オープニング画面が表示された後、現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

— お知らせ —

- 本機では、バッテリーまたは本機を一度車から取り外した場合に、セキュリティコードを入力しないと起動できないようになっています。セキュリティコードは同梱のセキュリティカードに記載されていますので、本機起動時にセキュリティコードを入力して、セキュリティロックを解除してください。

セキュリティカードは、紛失しないよう大切に保管してください。万一セキュリティカードを紛失された場合は、お買い上げのHonda販売店までお問い合わせください。

— MEMO —

- エンジンキーをOFFにすると、本機の電源が切れます。

操作パネルを開閉する

⚠ 警告

- ディスクやSDカードをイジェクトした状態のまま走行しないでください。振動によりディスクやSDカードが落下し運転に支障をきたすおそれがあります。必ず完全に挿入するか、または取り出してください。

— MEMO —

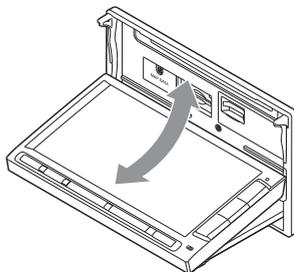
- カメラの映像を表示している場合は、操作パネルを開けません。

1

操作パネルの開閉を行う画面が表示されます。

2 **パネル開/閉**

操作パネルが開きます。

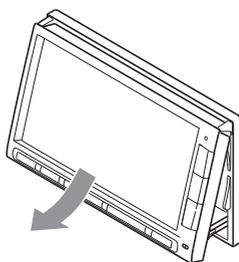


操作パネルを閉じるには、もう一度  を押すか、**パネル開/閉** をタッチします。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0～30度（約5度刻みの6段階）の範囲です。

1 角度の段階を選択



操作パネルが選択した角度に開きます。

— MEMO —

- 「[パネルをオープンしてください]」と表示された場合、**パネル開/閉** をタッチして操作パネルを開きます。
- 大きな角度から小さな角度に変更する場合、一度パネルが完全に閉じてから選択した角度に変更されます。

画面を非表示にする

1  を長押し

2 **画面表示オフ**



時計画面表示：
画面全体に時計を表示する。

— MEMO —

- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
 - 画面をタッチする
 - **MENU**、**現在地**、、**AUDIO**、 のいずれかを押し
- 画面非表示、または時計表示の状態ではエンジンキーをOFFにしても、次にエンジンキーを「ACC」、または「ON」にすると現在地地図画面、またはオーディオソース画面が表示されます。

時計画面表示



時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPSを受信すると自動で表示されます。

1 **MENU**

2 **設定** ▶ **その他設定** ▶ **時計**

3 各キーで時計表示を設定



時計表示 (地図・メニュー)：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定する。

時計表示 (オーディオ映像画面)：
テレビ / DVD / VTR / iPodビデオなどの映像画面で時計を表示させるかどうかを設定する。

24時間表示：
時刻の表示形式を24時間表示 / 12時間表示で切り替える。

オフセット調整：
1分単位で時刻を調整する。
調整できる範囲は、-59分～+59分です。

文字パネルを操作する

- お知らせ —
- 登録地点の名称変更など、編集時のみの機能です。

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、文字の種類を切り替えます。

1 入力したい文字の種類を選択



文字の種類は以下の順で切り替わります。
ひらがな → カタカナ (全角 / 半角) → 英数 (大文字 / 小文字 / 全角 / 半角) → 記号 (全角 / 半角) → ひらがな

文字の入力方式を切り替える

文字の入力方式を携帯電話での入力と同じ方式に切り替えられます。



文字の入力方式が切り替わります。

携帯電話入力方式画面



文字を入力する

— お知らせ —
 • 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 画面上の文字を1文字ずつ選択



小文字：

ひらがな、カタカナキーのとき、文字入力後にタッチすると小さい文字を入力できる。

例：「っ」、「ょ」、「い」など

2 確定

文字を変換する

— お知らせ —
 • 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。

3 変換対象を選択



変換する文字列の範囲を変更する。

前へ、次へ：

変換候補が多い場合、変換対象リストを切り替える。

文字を消去する

1 ◀、▶ で、消したい文字にカーソルを移動

2 修正



文字が1字消えます。



長押しすると、文字がすべて消えます。カーソルが文字の間にあるときに「修正」を長押しすると、カーソル位置から右側の文字がすべて消えます。

文字を挿入する

- 1 ◀、▶ で挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動



- 2 挿入する文字を入力



予測候補を表示する

入力した文字に該当する予測候補をリスト表示します。予測候補から文字を選ぶことで、入力をすばやく行えます。

表示される候補の例：

- すでに入力した語句
- 県名・ブランド名などよく入力される語句
- 有名施設名

— お知らせ —

- ・予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

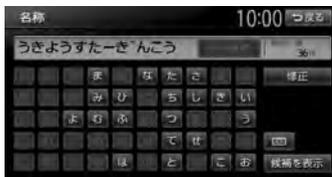
- 1 文字を入力 ▶ 予測候補



2 目的の項目を選択



タッチした候補が文字入力欄に表示されます。



リストを1つ移動する

- 1 ▲ または ▼



リストのページを移動する

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

- 1 リストを上下にフリック、または



画面をタッチしたままで、上下にすばやくスライドしながら指を離すと、前ページ、次ページに切り替わります。これをフリック操作といいます。画面上をタッチしたまま、指を離さずにゆっくりスライドしても、画面を切り替えられます。



連続してページを移動させるには、上下方向にフリックし続けるか、▲ または ▼ を長押しします。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を選択する方法を説明します。

1 た



「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 リストから該当する項目を選択

— MEMO —

- インデックスがすべて表示されていない場合は、上下方向にフリック、または ▲、▼ をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

ON/OFFのキーは、タッチするたびに、選択と解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。



すべて選択／解除：

すべての項目の選択／解除を切り替える。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくなります。

1 並べ替える



2 並べ替える方法を選択



リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

— お知らせ —

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

読み順：

50音順にリストを並べ替える。

近い順：

自転車位置から目的地までの距離が近い順にリストを並べ替える。

登録順：

地点登録順にリストを並べ替える。(登録地点リストのみ)

新着順：

メディアに紹介された年月日の新しい順にリストを並べ替える。(TVサーチ情報検索のみ)

アイコン順：

登録地点に設定されたアイコンごとにリストを並べ替える。(登録地点リストのみ)

グループ指定：

指定したグループを先頭にしてリストを並べ替える。(登録地点リストのみ)

路線順：

各路線の上り／下り方向の順にリストを並べ替える。(ハイウェイ検索のみ)

リストの項目を絞り込む

MEMO

- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。

例：地域とジャンルで絞り込んだ結果、地域に「東京都」がなければ、ジャンルに「東京都」は表示されません。

- すべての絞り込みを解除するには、以下の方法があります。

- 絞り込み指定の画面で

すべての指定を解除する

- 検索結果リスト画面で **戻る**



条件を指定して絞り込む

リストの項目数が多い場合、地域や施設ジャンルなどの条件を指定して項目を絞り込めます。

1 検索結果リスト画面で **候補を絞る**



絞り込み指定の画面が表示されます。

2 絞り込む方法を選択

- お知らせ

- 機能によって、表示されるキーが異なります。

地域を指定する：

都道府県や市区町村名から項目を指定する。

都道府県は5つまで選択できます。(TVサーチの場合は、都道府県をすべて選択できます。) 市区町村名が不明の場合は、都道府県を選択した時点で **指定を完了** をタッチします。すると、都道府県で項目を絞り込めます。

ジャンルを指定する：

施設のジャンルから項目を指定する。選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。

キーワードを指定する：

施設名に含まれる文字から項目を指定する。1文字でも絞り込めます。

3 指定を完了 または 候補を表示

項目が絞り込まれて表示されます。再度 **候補を絞る** をタッチして、項目を絞り込むこともできます。

指定を解除：

絞り込みを解除する。
キーワード指定による絞り込みを解除するには、文字入力画面で **修正** を長押しして、文字を消してください。

近隣県を指定する

住所から目的地を探すときに、自転車位置周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 近隣県

地名を入力：

地名を入力して、目的地・地点を探す。

MAP：

選択した県の中心となる場所を地図に表示する。

2 絞り込みたい県を選択

施設情報を確認する

「ガソリンスタンド」などのジャンルから目的地を検索した場合、施設名の横に施設情報アイコンが表示されます。このアイコンから施設のサービスや設備を確認できます。



施設情報アイコン

MEMO

- 施設情報アイコンには以下の種類があります。
24 (24時間営業) / **P** (駐車場) / **♿** (トイレ) / **ガソリン** (セルフ給油方式) / **洗車** (洗車場) / **PT** (整備場) / **タバコ** (ドライブスルー) / **お酒** (お酒) / **タバコ** (タバコ) / **不明** (不明)
- 施設情報アイコンは、ジャンル内の詳細ブランド名を選択した場合のみ表示されます。データの整備状態によっては、表示されないブランド項目もあります。

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に **MAP** が表示されている場合があります。 **MAP** をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。都道府県リストで **MAP** をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。



数値を増減する

リストの項目に **+**、**-** が表示されている場合は、数値や音量などを増減できます。



自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくとお出かけ先から自宅へのルートを設定できます。本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。住所から自宅を登録するには、以下のように操作します。

- MENU**
- 目的地** ▶ **自宅へ戻る**
- はい** ▶ **住所**
- 都道府県を選択**
- 市区町村を選択**
- 地域を選択**
- 番地、号を選択**
番地を入力：
番地、号を入力する。
— お知らせ —
• 号がない住所の場合は、番地をタッチしてください。
- 必要に応じて、地図をスクロールして位置を修正** ▶ **決定**



- 終了**

登録済みの自宅情報を編集する

1 MENU

2 設定 ▶ ナビゲーション

3 登録データの編集・消去 ▶ 自宅

自宅（未登録）：

自宅が未登録の場合、自宅検索画面を表示する。

4 編集



位置を修正：

地図をスクロールして自宅の位置を修正する。

消去：

登録済みの自宅情報を消去する。

終了：

手順3に戻る。

5 編集する項目を選択



地図上表示：

「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示する。

アイコン：

自宅に割り付けるアイコンを設定する。

アラーム音：

自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定する。

アラーム方向：

自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定する。

方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：

自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定する。

電話番号：

電話番号を編集する。